

## 第1回 新年金制度に関する検討会

### 議事要旨

日 時：平成22年3月8日（月）9：15～9：45

場 所：官邸4階大会議室

出席者：議長 鳩山 由紀夫 内閣総理大臣

議員 菅 直人 副総理 財務大臣

議員 平野 博文 内閣官房長官

議員 仙谷 由人 国家戦略担当大臣

議員 原口 一博 総務大臣

議員 川端 達夫 文部科学大臣

議員 長妻 昭 厚生労働大臣 年金改革担当大臣

議員 枝野 幸男 内閣府特命担当大臣(行政刷新)

議員 古川 元久 国家戦略室長

#### 1. 議長よりあいさつ

○新年金制度に関する検討会が今日から開始となる。現行制度にさまざまな問題があることは、既に国民の皆様のほうが実感としてご承知だと思う。この現行制度にかえて、新しい年金制度を今こそ新政権として作り上げていかなければならない。これが新政権にとって最大の課題の一つだと認識していただきたい。そのためには国民の皆様のご理解が必要であり、ぜひ透明でわかりやすい議論を進めていただきたい。国民の皆様方の合意をいただかなければ、新しい年金制度ができ上がるわけもない。税制との関わりなども含めて非常に難しい議論があると思うが、将来の国民の皆様方の安心を築いていくための大変重要な議論・課題であるという認識の下で、積極的な進め方をしていただきたい。

新政権になって新たな年金制度をつくる、そのために全身全霊を傾ける、その思いで皆さん方が積極的に議論に加わって良かったと、やはり国民の未来が担保されたなど、国民の皆さんに理解していただけるような年金制度の構築をぜひお願いしたい。

#### 2. 古川国家戦略室長より、資料に沿って説明

### 3. 意見交換

- 年金は非常に重要な問題であるから、適切な時期に、基本政策閣僚委員会を行った方が良いのではないか。
- 年金の話は慎重に進めていかなければいけないが、当面、事務局と関係省庁で粗ごなしをし、その結果を一度、ここで確認させていただきたい。さらに、時機を見て、連立与党の方々も含め、政治レベルの議論ができればと考えている。
- 2点指摘したい。1点目は、年金財政についてどのように考えるのか。例えば積立金はなくすのか、なくさないのか、あるいは国民全部が年金に入る前提にするのか、それとも脱退の自由を認めるのか、こういう枠組みに関する議論をお願いしたい。また、スウェーデンでは30年ぐらいかけて制度を徐々に入れ替えているが、制度を入れ替える時間をどう考えるのか。  
2点目は、予定利率が今は4.1%だが、現実には0.77%しかパフォーマンスがない。この現状をどう見るのか。大きな検討の柱として議論すべきではないか。
- 1点目は、まさに新年金制度のあり方をどうするかという問題で、今後議論していきたい。2点目について、この検討会は、あくまでも新年金制度の形をどうするかというところに、議題を特化している。したがって、現行制度の中で起きている問題点については、既に検討が行われているそれぞれのところでやっていただきたい。特に当面、これから5月をめどにやっていきたいのは、全国民が同様に加入するような一つの制度を作るのかどうかなど、非常に基本的な原則、大きな枠組みのところをまずは確認していくような形で進めさせていただければと思っている。
- スウェーデンの場合は新年金制度に関する議論を始めてから、法案提出までに6年かかっており、4年というのは決して長くはない。その中で、初めから各論に入っていくよりは、まずは、原則をきちっと打ち立てて、国民の皆さんと共有をしていくという哲学・原則みたいなものをきちんと決めて、これは連立の中でも揺るぎがないというのを確認をしていくことが重要ではないか。

### 4. 古川国家戦略室長より、今後の進め方について説明

- 今後の進め方として、この検討会の下に実務者による検討チームを設置し、有識者ヒアリングなどを行いながら、これからの社会の状況等に合った新しい年金制度の基本的な考え方はどのようなものかという議論を整理し、一度この検討会で中間報告をして、そこでまたご意見をいただいた上で、5月中をめどに新年金制度の基本原則をとりまとめられるような努力をさせていただきたい。

以 上